

「平成24年度 病害虫発生予報 第7号」の発表について

向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報については、次のとおりです。

- ・ 水稲では、トビイロウンカの発生が多くなると予想されます。
本害虫は水田に侵入後、急激な密度上昇により坪枯れ等の被害を起こしますので、水田内を注意深く観察し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ 大豆では、吸実性カメムシ類の発生が多くなると予想されます。
ほ場をきめ細かく観察して本害虫の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ 果樹では、果樹カメムシ類の発生が多くなると予想されます。
例年、飛来が少ない園地でも、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

病害虫防除に関する留意点

- ・ 病害虫防除を効果的に実施するためには、病害虫の発生状況を的確に把握し、適期の防除につなげることが大切です。病害虫の発生は天候の影響を大きく受けるので、天候の状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報に基づき、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ 薬剤防除を実施する場合には、適切な薬剤を選択するとともに、病害虫が薬剤抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。

水稲

- ・ トビイロウンカの発生は、近畿の一部地域で「多い」、九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本害虫は水田に侵入後、急激な密度上昇により坪枯れ等の被害を起こします。水田内を注意深く観察し、水稲の株元に成虫及び幼虫を確認した場合は、都道府県から発表される発生予察情報で防除適期を確認するなど、適切に薬剤防除を実施してください。
- ・ 穂いもちの発生は、中国、四国及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
葉いもちの発生が多く上位葉に葉いもちの病斑がみられる場合は、穂いもちの発生が懸念されるので、穂ばらみ期及び穂揃い期に薬剤防除を実施してください。なお、穂いもちの多発生が予想される場合には、穂揃い期7～10日後の追加防除を実施してください。

大豆

- ・ **吸実性カメムシ類**の発生は、北関東及び北陸の一部地域で「多い」、北東北、甲信、東海及び近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。
ほ場をきめ細かく観察して本害虫の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **ハスモンヨトウ**の発生は、北関東の一部地域で「多い」又は「やや多い」、中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
ほ場を観察して本害虫による加害の特徴である白変葉の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。

野菜・花き

露地栽培

- ・ 気温が高いと病害虫の動きも活発になるので、ほ場を観察して病害虫の早期発見に努め、発生を認めた場合には適期に薬剤防除を実施してください。

施設栽培

- ・ 気温が高いと栽培管理上施設を開放する機会が増えるので、病害虫の施設への侵入及び野外への飛び出しに注意が必要です。
- ・ 施設内が過湿になると病害の発生が助長されるので、施設周辺に排水路を整備して雨水が施設内に入らないように留意し、作物の株間の通風を図る等により、過湿にならないように施設を管理してください。
- ・ ウイルス病を媒介する**アザミウマ類**、**コナジラミ類**等の侵入又は野外への飛び出しを防止するため、施設の開口部に防虫ネット等を設置するなどの対策を実施してください。
- ・ 栽培終了後は蒸し込み処理等を行い、作物残渣での生存虫を死滅させてから搬出し、確実に処分してください。

発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及び地域（露地・施設栽培）

作物名	病害虫	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
ねぎ	アザミウマ類	東北、関東	北陸、東海
	べと病		南東北
いちご	炭そ病		北関東、東海
	ハダニ類	北関東	南東北、南九州
きゅうり	うどんこ病		東北、北陸、中国
	炭そ病		四国
	べと病		北陸
	アブラムシ類		南東北

きゅうり	アザミウマ類		南関東
	ハダニ類	近畿	
トマト	アザミウマ類		南東北
	コナジラミ類		南関東、南九州
	タバコガ類		南関東
なす	アザミウマ類	関東	南九州
	コナジラミ類		南九州
	ハダニ類	近畿	北関東
きく	ハダニ類	北関東	

注) 表中の地域については、その地域全域で発生がみられるものではありません。

果樹・茶

果樹共通

- ・ **果樹カメムシ類**の発生は、東北及び甲信の一部地域で「多い」、関東及び中国の一部地域で「多い」又は「やや多い」、近畿、四国及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。本年は、34都府県（8月29日現在）から注意報が発表されており、全国的に多い傾向です。
本害虫は、繁殖場所である山林等から飛来してくるので、例年、カメムシ類の被害が多い園地や山林に隣接した園地に加え、飛来が少ない園地でも、園内をきめ細かく観察してください。また、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

かんきつ

- ・ **かいよう病**の発生は、東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる発病葉及び発病枝は除去して、園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
特に、強風による擦れなどの傷口から容易に感染するため、風雨が強まることが予想される場合には、事前に薬剤を散布してください。
- ・ **黒点病**の発生は、東海、中国、四国及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる枯れ枝は除去して、園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **ミカンハダニ**の発生は、南関東及び中国の一部地域で「多い」、東海、四国及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
気温が高く雨が非常に少ない天候が長く続いた場合は、本害虫の発生が助長されますので、園内をきめ細かく観察し、発生状況に応じて適期に薬剤防除を実施してください。

りんご

- ・ **斑点落葉病**の発生は、「平年並」と予想されます。
本病は、降雨が続く気温が高めの時に発生が助長されます。また、密植や徒長枝により通風や採光が悪いと発生が多くなります。徒長枝の除去等により通風や採光を確保するとともに、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **ハダニ類**の発生は、北東北の一部地域で「多い」、北関東及び甲信の一部地域で「やや多い」と予想されます。
園内をきめ細かく観察し、本害虫の発生に応じて適期に薬剤防除を実施してください。

なし

- ・ **黒星病**の発生は、東北及び関東の一部地域で「多い」又は「やや多い」、甲信、東海及び近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる発病葉及び発病枝は除去して、園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **ナシヒメシンクイ**の発生は、北関東及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
都道府県が発表する発生予察情報を参考に、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ **ハダニ類**の発生は、近畿の一部地域で「多い」、関東の一部地域で「多い」又は「やや多い」、北東北及び四国の一部地域で「やや多い」、**アブラムシ類**の発生は、関東の一部地域で「多い」と予想されます。
園内をきめ細かく観察し、本害虫の発生に応じて適期に薬剤防除を実施してください。

ぶどう

- ・ **べと病**の発生は、北関東、甲信、東海及び近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる発病葉及び発病果は、除去して園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続く気温が低めの時に発生が助長されますので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

もも

- ・ **せん孔細菌病**の発生は、南東北の一部地域で「多い」と予想されます。
本病の伝染源となる枝病斑を形成した枝は、除去して園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は気孔や傷口から感染し、降雨や強風により発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **ナシヒメシンクイ**、**モモシンクイガ**の発生は、「平年並」、**モモハモグリガ**の発生は、甲信及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
都道府県が発表する発生予察情報を参考に、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。

茶

- ・ **炭そ病**の発生は、近畿の一部地域で「多い」、東海及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は、新芽の生育初期が薬剤防除適期になります。園内をきめ細かく観察し、本病の発生に応じて適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **チャノコカクモンハマキ**の発生は、南関東、東海、近畿及び北九州の一部地域で「やや多い」、**チャハマキ**の発生は、東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。
これらの害虫は、成虫発生最盛日の7日～10日後が薬剤防除適期になります。地域の予察灯やフェロモントラップでの誘殺状況を参考に、薬剤防除を実施してください。
- ・ **チャノホソガ**の発生は、近畿及び南九州の一部地域で「やや多い」、**チャノキイロアザミウマ**の発生は、東海の一部地域で「やや多い」、**チャノミドリヒメヨコバイ**の発生は、南関東及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
秋冬番茶の摘採予定園地では、同一系統の薬剤の連続使用を避けた上で、適期に薬剤防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

平成24年8月7日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
8月28日	宮崎県	水稲	トビイロウンカ

注意報

警報を発表するほどではないが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
8月8日	鹿児島県	水稲	トビイロウンカ
8月9日	長野県	水稲	斑点米カメムシ類
8月10日	北海道	水稲	斑点米カメムシ類
8月10日	秋田県	水稲	斑点米カメムシ類
8月10日	福島県	水稲	斑点米カメムシ類
8月16日	宮崎県	水稲	トビイロウンカ
8月17日	長崎県	水稲	トビイロウンカ

8月21日	石川県	果樹	果樹カメムシ類
8月24日	大阪府	水稲	ウンカ類
8月30日	鹿児島県	水稲	トビイロウンカ
8月31日	福島県	もも	せん孔細菌病
8月31日	福島県	なし	黒星病
9月4日	鹿児島県	かんきつ、なし、かき	果樹カメムシ類

■ 特殊報

新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
8月22日	神奈川県	日本なし	ニホンナシハモグリダニ（仮称）
8月29日	長崎県	すもも	斑入果病
8月30日	岩手県	アリウム類	べと病（仮称）
8月30日	岩手県	トルコギキョウ	えそ輪紋病

■ 用語解説

■ 地域

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北東北：青森県、岩手県、秋田県
南東北：宮城県、山形県、福島県
- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北関東：茨城県、栃木県、群馬県
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

■ 発生量（程度）

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側 10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として 40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側 10%の度数の入る幅

（平年値は過去 10 年間の平均）

■ 平成 24 年度発表予定日

- ・ 第 8 号：10 月 11 日（木曜日）
- ・ 第 9 号：11 月 8 日（木曜日）
- ・ 第 10 号：2 月 14 日（木曜日）

（参考）これまでの発表

- ・ 第 1 号：4 月 19 日（木曜日）
- ・ 第 2 号：5 月 17 日（木曜日）
- ・ 第 3 号：6 月 14 日（木曜日）
- ・ 第 4 号：7 月 5 日（木曜日）
- ・ 第 5 号：7 月 19 日（木曜日）
- ・ 第 6 号：8 月 9 日（木曜日）

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課

担当者：防除班 黒谷、後藤

代表：03-3502-8111（内線 4562）

ダイヤルイン：03-3502-5976

FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>